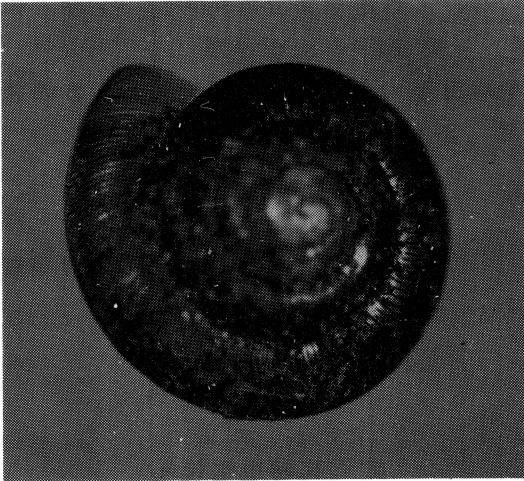


## 新種カンムリレンズガイ

齊藤岩雄



昭和47年6月18日に、東正雄先生（西宮市甲陽学院教諭）を講師として南越中学校の職員をはじめ、郡の理科研究会々員などが参加して、福井県と岐阜県に境する冠山（1257m）のブナ原生林の陸貝採集を実施した。

採集場所の設定については、

- 700m 第一登り口付近
- 800m 新登り口付近
- 900m 徳山村原生林
- 1,000m 峠付近

と、この4ヶ所を定め、700mの第一登り口付近から採集をした。一行はクマザサのおい茂る中をわけ入って、ビショぬれになりながらも熱心に貝を求めて歩きまわった。

この日は昨夜来の雨で陸貝の多くは樹上にまで這い出ている。われわれが採集している時にも時々雨が降っていた。このことは一面陸貝の採集としては、よい採集日であったといってもよいであろう。ちょうど最後の1,000mの峠付近の採集は午後の最後のコースであった。この峠付近のブナ原生林内のブナの大きい朽木の空洞内から、レンズガイの一種を東先生が採集された。この貝を調べたところ新種であることがわかり、東先生は冠山のブナ林を記念して

*Otesiopsis Kanmuriyamensis* AZUMA sp. nov.

カンムリレンズガイ（新種、新称）

と命名された。

この新種カンムリレンズガイは、殻高5.9mm、殻径9mm、体層7/8という小形の薄い貝である。色は濃栗色をしていて形はちょうどソロバン玉のように見える。カンムリレンズガイの詳細については貝類学雑誌VENAS 第31巻第4号（昭和48年1月発行）を参照のこと。

なお、この日次の貝を採集することができた。

1. キョウトギセル（本県初見、新分布地）
2. エチゴキセルモドキ

3. ハクサンベッコウマイマイ
4. ツノイロヒメベッコウマイマイ
5. ハゲギセル
6. コンボウギセル (本県初見)
7. コベソマイマイ
8. ハクサンヤマナメクジ (本県初見)
9. コガネマイマイ
10. エルベルギセル
11. ケハダビロウドマイマイ (本県初見)
12. カンムリレンズガイ (新種、新称)
13. クロイワマイマイ
14. ナミヒメベッコウマイマイ
15. オオギセル

前 南越中学校長